

平成24年度 民間競争入札実施事業  
空港土木施設維持修繕工事の評価（案）の概要

1. 業務内容及び契約期間

(1) 業務内容：空港土木施設の維持工事

(2) 契約期間：平成24年4月1日から平成27年3月31日まで

2. 実施状況に関する評価

確保すべき質として設定していた項目(不具合の復旧未実施件数<0件>、航空機の運航への影響件数<0件>、維持工事の確保すべき水準)は、全て目標水準を達成。

民間事業者からの提案により、業務の効率性の向上等が図られた。

3. 実施経費に関する評価

契約額(平成24年度から3年間の契約額の単年度換算額)と従来経費(民間競争入札導入前の平成23年度)の比較は、以下のとおり。(単位：千円)

空港名	従来経費 (A)	契約額 (B)	単年度換算 (B/3)	差 (B/3-A)	増減割合 (B/3-A)/A
稚内空港	91,350	259,350	86,450	4,900	5.4%
釧路空港	93,450	274,575	91,523	1,927	2.1%
丘珠空港	77,700	255,150	85,050	7,350	9.5%
東京国際空港	164,850	472,500	157,499	7,351	4.5%
八尾空港	57,750	173,250	57,750	0	0.0%
広島空港	95,550	260,400	86,800	8,750	9.2%
高松空港	60,900	170,730	56,910	3,990	6.6%
福岡空港	185,850	533,400	177,800	8,050	4.3%
北九州空港	51,660	150,150	50,050	1,610	3.1%
熊本空港	69,300	207,900	69,300	0	0.0%
鹿児島空港	77,700	232,050	77,350	350	0.5%
合計	1,026,060	2,989,455	996,485	29,578	2.9%

丘珠空港は、除雪の回数増加等により、契約額が増額となった。

4. 今後の事業について

本事業を実施するにあたり、幅広い者の参入を促すために入札参加資格要件の緩和等を行った結果、3空港において応札者数の増加がみられた。更に多くの民間事業者の入札への参加を促し、競争性を高める方策として、近年の入札参加資格要件の緩和状況について十分に周知すること、応札可能な民間事業者に対して積極的に情報開示を行うこと、人材確保等の準備期間を確保すること等について引き続き検討する必要があると考えられる。

以上のことから、次期事業においても引き続き民間競争入札を実施することが適当である。

以上